

■教育優秀賞／プラクティス優秀賞

2019 年度後期「教育優秀賞」「プラクティス優秀賞」受賞者の決定について

2019 年度後期「教育優秀賞」「プラクティス優秀賞」受賞科目、受賞者が下記のとおり決定しました。

■受賞科目と受賞者

		受賞科目	受賞者
教育優秀賞	履修者 30 名以上	コンピュータグラフィックス	浮田 宗伯 教授
	履修者 30 名未満	機械加工学	秦 誠一 非常勤講師
プラクティス優秀賞		工学リテラシー2 (自由課題／機械加工コース)	荒川 修一 助教 高見 公雄 指導員 杉山 伸一 指導員

教育優秀賞受賞者の感想

■「教育優秀賞」(履修者数 30 名以上)

授業科目: コンピュータグラフィックス



浮田教授

「コンピュータグラフィックス」が、2019 年度後期の教育優秀賞を受賞できたこと、大変嬉しく思います。

開講から 3 年目での受賞となりましたが、たかが 3 年の間にも、授業アンケートでの学生からのフィードバックや、授業公開・検討会での先生方からのご意見に基づいて、改善を続けることができました。また、2019 年度は、時代や学生のニーズに合わせて、講義中の課題の一部をオンライン化しました。

最も大きな改善点は、プログラミング課題を「複雑な C 言語」から「実装容易な Python」に変更し、プログラミングを「学生個人 PC 上での実行」から「教員が用意した教育用サーバ上での Python 環境に、ウェブブラウザからアクセスするだけで実行可能」にしたことです。これによって、「個々の学生による事前のプログラミング環境の構築」や「煩雑な課題提出処理」を不要にできただけでなく、高速なサーバ環境におけるトライアル&エラーの反復を可能にし、その結果として課題内容の深い理解につなげることができたのではないかと考えます。

受賞談らしからぬ専門的な事項の羅列になってしまいましたが、全講義に関わる一般的な改善項目に加え、上述したような各講義の内容や専門性に関わる改善はまだまだあるのではないかと思います。また、不幸な事情から遠隔講義を中心とした ICT の重要性が注目を集めている現在ですが、現在の状況とは関係なく、本学の講義体型に新しいオプションをお示していくことができるよう歩みを進めていきたいと考えております。(浮田)

■「教育優秀賞」(履修者数 30 名未満)

授業科目: 機械加工学

この度は、「機械加工学」に対して教育優秀賞と特別表彰を賜り光栄の至りです。

貴学にて本授業を担当させて頂きすでに 5 年を過ぎますが、2015 年、2016 年と連続して教育優秀賞を賜り、実は密かに特別表彰を狙っておりました。しかし、そう簡単に何事も進まず、つい張り切って課題を出しすぎたり、教え急いだりと、やはり学生との丁寧なコミュニケーションが何よりと、教えることは教えられることと思ひ知らされる日々です。

今は新型肺炎の猛威の前に、様々な活動を抑制していますが、教育研究という精神活動は抑制されませんし、かえって雑事に紛らわされず、新しいことに挑戦できる(せざるを得ない)好機とさえ考えます。後期には緊急事態宣言も緩和され、無事再び教壇に立てることを心から祈念し、受賞の喜びの言葉にかえさせていただきます。この度は、本当にありがとうございました。(秦)

< 秦非常勤講師への授与は、新型コロナウイルス拡大の影響により別途執り行います >

プラクティス優秀賞受賞者の感想

■授業科目: 工学リテラシー2(自由課題/機械加工コース)



高見指導員

荒川助教

昨年に引き続きプラクティス優秀賞を受賞することができ、大変光栄に思います。

工学リテラシー2の「自由課題/機械加工コース」は、10 年以上の長きにわたる歴史のあるテーマで、私が 3 代目の担当者となります。今回の受賞は、過去にこの科目を担当した教員が改善を重ねて積み上げてきた、しっかりとしたプログラムによるものが大きいと考えています。また、「機械加工模擬体験コース」のワイヤ放電加工、旋盤加工を分担指導していただいた高見指導員をはじめ、受講人数の増加に対応するため、今回新たにトヨタ自動車から加わっていただいた杉山指導員の確かな技術と経験に裏打ちされたきめ細かく熱心なご指導も、学生からの高い評価を得る理由となったと考えています。

私が直接指導をした「超小型蒸気機関車コース」は、市販のミニチュアキットをベースとして蒸気機関車を組立て、課題の走行距離を達成できるまで改良を加えていくものです。機械加工の技術向上はもとより、PDCA サイクルを回しながら、課題達成に至るまでのプロセスと最終的に得られる達成感を体験させることを最も重要視し、指導に当たりました。今後も、この受賞を励みに、学生の資質・能力の向上をめざし、日々努力してまいります。(荒川)

この度は「プラクティス優秀賞」をいただき、ありがとうございます。今回の受賞対象になりました工学リテラシー2「自由課題/機械加工コース」において3度目の受賞です。

今年度も小型蒸気機関車は荒川先生が担当、ワイヤ放電加工、旋盤加工は主に高見が担当。実習内容は変わりませんが、実習対象者数と実習日数が増となり、旋盤加工テーマにはトヨタ自動車より杉山指導員に来ていただくことと、実習に使用する旋盤が2019年に更新されるという2つの変化点がありました。

メーカーによる旋盤の仕様が変わるため、学生にも、担当していただく指導員にも言葉、ポイントに気をつけ、分かり易いものになるよう、手順書を改訂しました。又、旋盤にも操作部位に名称を明示し、学生が機械操作を理解しやすいよう、操作ミスを起こさない工夫をしました。どのテーマも安全第一に、ものづくりの楽しさを実感してもらえるように作業を進めました。

今年度で後期実習の自由課題テーマが全て終了しますが、最後の年に賞をいただけることは大変光栄に思います。これからも担当実習において学生が理解し易く楽しみを持って実習に取り組めるような指導に心がけていきます。(高見)

<杉山指導員(ご所属:トヨタ自動車株式会社)は、所属部署のグループ長・難波様ご同席のもと授与式を行いました。>



難波グループ長 杉山指導員 久本事務局長
(トヨタ自動車株式会社) (同左) (本学)